

オンラインライブ中継による東京・名古屋・大阪同時開催 初めてビジネス契約を学ぶ方、新任担当者を対象に基礎から解説

「契約」・「契約書」の基礎知識

主催：(社)企業研究会 / 協力：TAC(株)

《開催要領》

東京会場

- 日時● 2014年11月18日(火)
10:00~17:00
- 会場● 企業研究会セミナールーム
(東京：麹町5丁目)

名古屋会場

- 日時● 2014年11月18日(火)
10:00~17:00
- 会場● TAC名古屋校
(名古屋：名鉄バスターミナルビル9F)

大阪会場

- 日時● 2014年11月18日(火)
10:00~17:00
- 会場● TAC梅田校
(大阪：梅田センタービル5F)

《開催にあたって》

当セミナーは、講師が来場する東京会場をメイン会場として、その模様を名古屋会場・大阪会場に中継致します(名古屋会場・大阪会場への講師の来場はありません)。中継については、TV製作会社である(株)東通が担当し、双方向コミュニケーションにより、名古屋会場・大阪会場からの質疑応答も可能です。
(裏面のご案内もご覧ください)

講師 丸の内総合法律事務所 弁護士 太田大三 氏



講師紹介

1996年東京大学経済学部経済学科卒業。同年、司法試験合格。97年、東京大学経済学部経営学科卒業。99年、司法修習終了。弁護士登録。2003年には経済産業省特許庁に法制専門官として勤務。現在、丸の内総合法律事務所のパートナー弁護士として、企業法務に従事する一方、セミナーでの講師実績も多数。著書に、「職務発明規程の実務ハンドブック」(商事法務)他多数。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

■『東京会場』受講料 1名(税込・昼食代含む)

(申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。)

↓希望会場に「○」をご記入下さい。 FAX:03-5215-0951

正会員	37,800円(本体価格 35,000円)
一般	41,040円(本体価格 38,000円)

■『名古屋・大阪会場』受講料 1名(税込・昼食代を含みません)

正会員	36,720円(本体価格 34,000円)
一般	39,960円(本体価格 37,000円)

■参加要領

申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからお申込み頂けます。後日(開催日1週間前~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会ホームページにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いいたします。

※最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

■お申し込み・お問い合わせ先

一般社団法人企業研究会 公開セミナー事業グループ

担当/川守田 E-mail: kawamorita@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31Mビル2F

《東京会場:141474-0303》2014.11.18 契約・契約書の基礎	
《名古屋会場:141483-0303》2014.11.18 契約・契約書の基礎	
《大阪会場:141484-0303》2014.11.18 契約・契約書の基礎	
ふりがな 会社名	
住所	〒
TEL	FAX
ふりがな ご氏名	所属 役職
E-mail	
ふりがな ご氏名	所属 役職
E-mail	
ふりがな ご氏名	所属 役職
E-mail	

*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

「契約」・「契約書」の基礎知識

10:00

- I 契約・契約書（総論）
 - 1 「契約」とは、「契約書」とは何か。
 - (1) 契約とは (2) 契約書とは
 - 2 なぜ、「契約書」を作らなければならないのか。
 - (1) 証拠としての意味 (2) 合意の形成・確認手段としての意味
 - (3) 事実上の信用性
 - 3 「契約書」を作成したにもかかわらず、後に争いが生じるのはなぜか。
・・・「契約書」の作成・締結において一番重要な事柄は？
 - (1) 充分性 (2) 明確性
 - 4 「契約書」の「読み方」
 - (1) 契約書の文言の解釈の基本 (2) 契約書外の事情について
 - (3) 契約書の文言とは完全に矛盾するような、契約書外の事情は？
 - 5 契約の内容はどのようなものでも全て効力を有するか。
 - (1) 契約自由の原則 (2) 契約自由の原則の例外
 - 6 契約書の形式について
 - (1) 形式的記載事項 (2) 契約書の通数
 - (3) 印紙税法の基礎知識
 - 7 署名と印鑑
 - (1) 署名と記名 (2) 印章の種類、効力
 - (3) 契約書における押印の種類
- II 契約書における各条項の読み方・作り方
 - 1 契約書における一般的な構成のイメージ
 - 2 当事者の履行する内容を定める条項の例
ア；対価の支払条項 イ；物を「渡す」条項
 - 3 契約の効力の存続に関する条項の例
ア；契約の有効期間 イ；中途解約条項 ウ；解除条項 等
 - 4 契約（の履行）に問題が発生した場合の条項の例
ア；期限の利益の喪失条項 イ；損害賠償を定める条項 等
 - 5 一般条項の例
ア；合意管轄を定める条項 イ；準拠法を定める条項 等
- III 契約書のチェック（演習形式）
- IV 様々な契約書において留意すべきチェックポイント
 - 1 契約書のサンプル・書式の利用方法
 - 2 売買契約の契約書と主たるチェックポイント
 - 3 ソフトウェア開発委託契約の契約書と主たるチェックポイント
 - 4 秘密保持契約の契約書と主たるチェックポイント

※当日は、本テーマに関する最新情報を盛り込むため、講義内容・構成に若干の追加・修正が発生する場合がございます。

＝ ご案内 ＝

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。
※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。
※名古屋会場、大阪会場のご昼食につきましては、ご参加者の皆様が各自、セミナー会場近隣の飲食店にてお召し上がり頂く形となります。

※セミナー中、映像及び音声のトラブルがあった場合は、下記の通り対応をさせていただきますので、ご了承の上、お申込をいただけるようお願い申し上げます。

■映像など切断した場合、再接続してから講義を再開致します。

■接続が回復できない場合、もしくは音声途切れるなど 配信品質が著しく低下した場合、受講料を返金させていただきます。

17:00